

視点の先の未来を見つめて

# n-a-view

[ナビュー] Nichiha across the view

2017~2018  
WINTER

VOL. 461

## CONTENTS

02 • NICHIBA SIDING  
AWARD 2017

28 • 新商品紹介

31 • Topics & More

NICHIBA  
SIDING  
AWARD  
第34回  
2017







総評



施工写真コンテストも  
 34回目を迎えます。  
 応募総数378作品の中から  
 各賞が決まりました。  
 今号ではその受賞作品を  
 一挙にご紹介します。

〔審査委員長〕



難波和彦

KAZUHIKO NAMBA

建築家・東京大学名誉教授。  
 放送大学客員教授。  
 1977年 一級建築士事務所(株)界工作舎を設立。  
 グッドインテリアデザイン賞、新建築吉岡賞、住宅建築賞、JIA環境建築賞、建築学会賞業績賞など多数受賞。代表作に「箱の家」シリーズがあり、標準化・多様化・サステナビリティをコンセプトに掲げた都市型住宅のプロトタイプとしてデザイン・開発を手がける。



飯島直樹

NAOKI IIJIMA

インテリアデザイナー。  
 1985年 飯島直樹デザイン室を設立。  
 2011年-2016年工学院大学建築学部教授。  
 JCDデザイン賞、API DA(香港)賞など多数受賞。  
 5Sニューヨーク、blupondソウル、PMOオフィスビルプロジェクト、工学院大学ラーニングcommons新宿・八王子などインテリアから環境全般のデザインまで幅広く活躍。

昨年度で、審査委員長の杉本貴志さんが  
 退任され、今年から新しく飯島直樹さんが  
 審査員に就任された。飯島さんは、杉本さん  
 と同じインテリア・デザインの出身だが、並行  
 して建築のデザインも手がけられており、幅  
 広い活動を展開されている。初めて一緒に審  
 査に臨むことになり、やや不安ではあったが、  
 幸いにも審査基準について意見の相違はほと  
 んど感じられなかった。

まず、今年は住宅においても非住宅におい  
 ても、昨年のような突出した作品が見当たら  
 なかったのが残念である。昨年は大手ゼネコン  
 やアトリエ建築家からの応募があり、頭一つ抜  
 け出していたからである。しかし一方で、総体  
 として見るならば、作品のレベルは明らかに  
 底上げされているように思われる。このため、  
 昨年とは逆に、入選作品の候補として選んだ  
 作品数は、いつもより多くなり、それらに順位  
 をつけることに、かなり苦労したが正直な  
 感想である。それだけサイディングの使い方が  
 人口に膾炙し、設計者や工務店に浸透してき  
 たことの表れかもしれない。

審査基準としては、製品の工法仕様を  
 遵守しながら、サイディングの種類を選択し、  
 建築デザイン全体に統合している点に注目  
 した。耐候性や防火性については言うまでも  
 ないが、サイディング工法の容易さや重量の軽  
 さを、どう活かしているかという点も重要な  
 条件である。今回の上位入賞作品の中には、  
 窯業系ではなく、金属系サイディングが見ら  
 れることも、サイディングの多様性の表れとし  
 て特筆しておきたい。

NICHIHA SIDING AWARDSの審査に  
 参加することになって、少々戸惑った。建築の  
 外部の有り様を評定するアワードだからで  
 ある。私はインテリアデザインを専門とする。  
 そこで建築の骨格よりも、私に身近な空間  
 現象、とりわけ表層という側面から応募作  
 を観察してみた。

このアワード審査を通じて改めて感じた  
 ことは、サイディングという素材の可能性で  
 ある。コストパフォーマンス、耐候性、断熱性、  
 多様な種類といったサイディングの特質だけ  
 ではなく、その一歩先の可能性だ。「本物の代  
 替え品」感を払拭する近年のデジタル高度加  
 工技術による表層や、あるいは艶加減やシー  
 ル目地などの微細な表層処理に高解像度で  
 注力することによって、サイディング材は自然  
 界にない「独自の素材」としての可能性を持っ  
 ている。受賞作はいずれも、様々な施設デザ  
 インの方向が明快であり、その方向をより魅  
 力的にするために、こうしたサイディングの  
 新しい特質(繊細な表層、金属質感、フラッ  
 トな表面など)が生かされていたように思う。  
 肌目を生かす照明デザインとのマッチング、  
 内装材としての発見、商業インテリアへの進  
 出なども今後期待したい可能性だ。



# GRANDPRIX

## 👑グランプリ【非住宅部門】

埼玉トヨタ自動車株式会社  
レクサスCPO浦和美園(埼玉県)

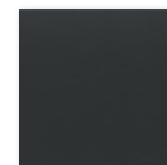
有限会社デザイン・ワークス 様



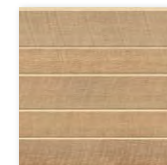
伊藤 俊一 様  
有限会社デザイン・ワークス 代表取締役  
一級建築士、インテリアプランナー

1957年 山形県生まれ。  
山形県立米沢興譲館高等学校卒、  
関東学院大学工学部 建築学科修了。  
株式会社ユーアンドユー一級建築士事務所  
(関東学院大学工学部建築学科講師 内山勝美 主宰)  
株式会社渡邊明次建築総合研究室  
(関東学院大学工学部建築学科教授 渡邊明次 主宰)

### 使用商品



COOL MEMORIA  
ブラック  
EFM318F



モエンエクセラード16  
Fu-ge モベルウッド  
モベルブラウンE  
EFF1223E

### 審査員評

レクサスショールームの色のフォーマットは黒であり、この店はそこに木と石を加味して上質感を演出する。だがこの空間の魅力は、施設全域をカバーする一枚の水平面にある。木質のフラットな天井面として現象するそれは、車で訪れる顧客へのウエルカムウイングであり、夜間にはロードサイドに向けた巨大な間接照明を演じる。ハイエンドなレクサスブランドのVMD起動装置として、この建築は秀逸である。

VMD: Visual Merchandising (ビジュアルマーチャндаイジング)の略。ブランドのコンセプトや企画の意思をビジュアル化し、お客様とのコミュニケーション能力を高める手法で見やすく、選びやすく、買いやすい快適な環境を提供。マーケティングの一端として行われる企業戦略活動。

### 受賞者インタビュー

#### 30年に亘り、 全幅の信頼を築く

ニチハ このたびはご応募くださり、ありがとうございます。グランプリ獲得、おめでとうございます。まずはご感想をお聞かせくださいませんか。

伊藤 ありがとうございます。正直、驚きました。これまで自主的にコンテストやコンペに応募したことがなく、今回、担当の伊藤さんから応募の打診をいただいていたのですが、締め切り時期を忘れていて、ぎりぎりになって応募した次第で。クライアントさんやこの建物をご利用いただくお客様、また地域の方々に少しでも喜んでいただき、地域の環境に貢献できるようにと設計したものを評価いただいたのは、有難いことだと嬉しく思っています。

ニチハ デザイン・ワークス様は、埼玉トヨタ自動車(株)様の本社社屋をはじめ、数々のショールームも手がけていらっしゃいますが、どのような関係なのでしょうか。

伊藤 埼玉トヨタさんとは30年近くのお付き合いになると思います。設計事務所を開設する前、恩師、渡邊明次の主宰する建築事務所10年ほどいました。その事務所は、渡邊がミースファンデルローエのオフィスを辞めて日本に帰国した今から50年ほど前に、トヨタさんが全国のディーラー向けに店舗マニュアルを製作する業務に携わっていました。その関係で国内店舗コンサルティングなどの仕事をやるようになり、私もトヨタさんの店舗設計コンサルタントを担当していました。ディーラーは店舗設計をメーカーにコンサルティングしてもらおうシステムがあったんです。

トヨタさんは地域密着型の会社なので、大抵このディーラーさんも付き合いのある建築会社や設計事務所があるため、我々がつくった計画をベースに地元の会社が請け負われるのがほとんど。ですがある時、立地条件的に間口の狭いショールームのコンサルティングに出向いてプランニングをした際、

新しい  
スタンダードへの  
「架け橋」に。







レクサスの黒で統一されていた看板の色も、新たな店舗展開では明るい木目柄に。メーカーの配慮により、竣工間際ギリギリに全国に先駆けて設置された。

普通はそこで終わりなのですが、建築がお好きな埼玉トヨタの現在の会長から「ああ、こんなことできるの。じゃあ一回建築までやって」と依頼を受け、その話をいただいてから埼玉トヨタさんの店舗を何店舗かさせていただいたのが始まりです。その後私は独立して、担当していた埼玉トヨタさんや福島トヨペットさんのお仕事をそのまま引き継ぎ、埼玉トヨタさんでは、レクサスの2店舗（川越、越谷）もさせていたでいています。

**ニチハ** そうした経緯がありましたね。こちらレクサスCPO浦和美園は、単独の認定中古車店とのことですが。

**伊藤** CPO (Certified Pre-Owned) 認定中古車は、新車店舗脇にスペースをつくるのが多く、独立した認定中古車店はそんなに多くないんです。

**ニチハ** レクサスのブランドイメージを損なわず他店と差別化を図りたいというご依頼主のご要望に対してどのようなご提案をされたのでしょうか。

**伊藤** 中古車店舗は現車販売なので、車を全面に押し出して展示し、訴求力を高めるように配置しますが、このCPO浦和美園は、これから車を購入されるお客様やすでにレクサスのオーナーになられた方に居心地の良い空間を提供すること、レクサスブランドの

けるのが大きな屋根で、お客様のメインアプローチとなっています。この大きな屋根はいろいろなものに対する中間領域の役割を果たして、さらにはこの建物を強烈に印象づけるアイテムとなっています。



### 新たなレクサス店舗へ「架け橋」となるデザインに

**ニチハ** 設計途中で、レクサス全店をリニューアルするとの情報が入ってきたのですが。

**伊藤** そうです。当初は、従来通りの黒と白で統一するイメージでやろうとしていたんですが、建築場所の変更もあり工期がずれた関係で、リニューアルの話が出てきたんです。

コンセプトである「おもてなし」の気持ちを伝える憩いの場所を演出すること、そして何よりもお客様がこの店舗にお迎えする形を表現しています。なので、この建物は販売店というよりは「迎賓館」や「ゲストハウス」をイメージしてつくっています。その「おもてなし」の空間として、オーナーズラウンジを設け、レクサスのサービスを味わってもらうことを意図した空間づくりをしたので、ちょっとしたおしゃれなレストラン、雰囲気の良いブティックのような空間に仕上がっていると思います。

また、車両展示スペースには、レクサスの世界観を創出するために、前面道路沿いにブラックのデザインフレーム、反対の隣地側には街路樹的な植栽帯を設け、外部とはそれらのアイテム越しに「見る」「見られる」という関係を保ちながら、囲われた空間に気持ちの良い公園のような雰囲気を演出しました。内部空間と外部空間を結びつ



これまでのレクサスは、モノトーンの世界で、どちらかというと無機質な感じ。でもレクサスってそもそも「和」なんです。ぱっと見はモノトーンでクールだと思われていると思いますが、ガラスのパーティションに和紙が入っていたり、一般的には知られていないと思いますが、和のテイストを入れた建物なんです。ですから今回のリニューアルは、その日本特有の和に「木」を取り入れて一新するイメージなのかと、当時は想像しながら取り組みました。レクサスCPO浦和美園が竣工する頃には、リニューアル店舗もできていますからね。転換期ということで、既存のイメージとリニューアル後のイメージの「架け橋」となるようなデザインプランをご提案しようと考えました。

**ニチハ** なるほど。そういう視点で見るととてもよく理解できます。

レクサスのブラックではありませんが、外壁に、昨年発売されたマットな質感のCOOLのメモリアをご採用いただきました。選定された理由をお聞かせいただけますか。

**伊藤** 既存のレクサス店は、押出形成セメント板ですので、当初はそれかALC板を検討していました。サイディングについては、これまで平滑なフラット面の黒い板がないことや、出隅の納まりが好みではなかったため、選択



「いきなり、私が代表に電話して。最初は怪しまれながらもお時間をいただいて、説明を聞いていただきました。かなり早い段階でCOOLをチェックされていましたね。外壁構造の防火規制に対してのアドバイスもお役に立てたようで、本当にグランプリを受賞できて良かったと思います」聞き手(左)特販第二部営業第三課 伊藤。



「素晴らしい店舗にとっても満足しています。レクサス店舗の転換期にあっただけで、どうなるんだろうと思っていましたが、ここまですごくなるとは驚きました。来場されるオーナー様からも素敵だねと絶賛をいただいています。グランプリを獲れたことは私の誇りですね」(中)レクサスCPO浦和美園 ゼネラルマネージャー 田中和広様。(右)デザイン・ワークス プランナー 米澤有紀様。



撮影：株式会社エスエス 堀越圭吾

**これまでの人々の  
思いや営みを受け継ぎ、  
未来へ紡ぐ**

**ニチハ** ミースフアンデルローエに師事され、60年代にミースのオフィスで経験を積まれた恩師、渡邊明次様から「建築とは時代を翻訳することである」との教えを受けたとのことですが。

**伊藤** 私なりの解釈ですが、単にその時代性を表現するだけではなく、時代を翻訳するということは、そのもの持つ過去からの歴史を正しく理解し、理解しきった上で、今という時代に向かい合い、その時代を切り取り、そこにある

様々な思いを未来へと紡いでいく努力をすることと理解しています。  
**ニチハ** 伊藤様にとって、そうした信条に合ったと思われる、思いの深い建築についてお聞かせいただけますか。

**伊藤** 今までのすべての建物が思いの深い建築ではありませんが、強いて言えば特徴的な建物が2つあります。一つは、千葉の房総にある交流施設です。以前は町立の小学校の建物でした

目地が主張して重すぎるんです。メモリアだからこそ、コーナーも左右接合部も目地が入らず、建物自体が一つの塊に見えると思うんです。店舗名の看板がかかっているナラ材を使ったデザインウォールも、わざわざ建てているわけではなくて、この部分にはブレースが入っていて、それを隠すための壁でもあるわけですが、本物の木を使ったことで外観がグレートアップしましたし、屋根がこのデザインウォールと黒い外壁建物をつないでいる感じになるんですね。このスケール感だからこそマッチしたともいえますね。窯業系サイディングに対する見方が変わりましたよ。

**ニチハ** ありがとうございます。タイムリングよくCOOLのメモリアをお使いいただくことができて本当に良かったと思います。  
レクサス店舗の新しいスタンダードについても、お聞かせいただけますか。  
**伊藤** 『驚きと感動』『先進性、匠の技術、センスの良さ』を提供できるブランドを目指して、より居心地が良く、レクサスの世界観を体感できる空間に進化させた」とお聞きしています。レクサス店では、各オペレーションに対応するようにそれぞれのスペースが配置されていますが、その基本性能はそのまま踏襲されています。特に今回大きく変革したエリアがオーナーズラウンジで、

が、人口の減少、少子化などにより廃校が決まりました。しかし、思い出の沢山詰まった小学校を他の施設としても何とか残せないかという地元の強い要望もあり、玄関や職員室があった部分は食堂や浴室、談話室などに建て替え、教室は宿泊室にリニューアルし、体育館(講堂)はなるべくその歴史を残すように保存を考え、新しい施設に生まれ変わりました。町営ではなく、地元のおじちゃん、おばちゃんが組合をつくって運営しています。地元の人々の大切な思い出が今新しい形となり、地元はもちろん、都会の子供達や他の地域の人達の思い出づくりの場となり、これから先も親しまれていくことと思います。

二つ目は、埼玉トヨタ自動車の本社です。2011年の震災後、築約50年の本社ビルを安全性の面などから建て替えました。本社屋と営業所、工場などが別々に建てられていたのを一つの建物に集約しました。過去50年という長い歴史を引き継ぎ、これから先50年後の未来へどういう形で引き継いでいくかをテーマにしました。私が表現したいのは、そこに流れる確かな時間や、連綿と受け継がれる人々の思い、形を変えても変わることのない人々の営みなのかもしれないと思っています。  
**ニチハ** 伊藤様が翻訳されたそうした

レクサスブランドの魅力を伝え、体感していただけるコミュニケーションラウンジが新設されています。

床・壁天井などに使用する材料は、木や石など自然の素材に近いもので、今までのクールな感じから温もりのある暖かい印象とともに、洗練された中に軽やかさ、あるいはホテルのような趣のある都会的な雰囲気、また和をモダンに昇華させた空間に仕立てられているということですね。



右の納車セレモニーが行われる壁面を、Fu-geのモセルウッドとCOOLのメモリアで張り付けている。

撮影：株式会社エスエス 堀越圭吾

思いは、現在その建築を使われる方ももちろん、これから先受け継がれる方々にも伝わっていくのだろうと思います。

**伊藤** そうだといいですね。特に今まであったものをリノベーションしたり、建て替えたりすると、建物が変わるだけではなく、いろんなものが変わるんです。あるものは過去を継承し、あるものは新たな命を宿し、そしてその変化は感性で分かるものだと思うんです。言葉や理屈で理解するものではなく、こころいなどか、なつかしいなとか、きれいだなど直感で感じとるものなんですよ。だからそこをきちんとやっていかない。モノをつくる以上は、現場に入っても最後まで諦めない。ミースが言うように「細部に神は宿る」ということを大事にして、たとえ図面に描いてあっても、現場で見ると確認して、可能なかぎり何度でも変更します。それを行うのは我々の満足もあるかもしれないが、一番いいものをお渡ししたいという思いの表れなのだと信じて。だから、現場監督から何か言われても負けない、最後までこだわって嫌われない(笑)。いつも変更ばっかりですからね。きつことこのスタンスはこれから先も変わらないのだと思います。

**ニチハ** 本日は本当にありがとうございます。



# GRANDPRIX

👑 グランプリ【住宅部門】

Ⅰ 様邸 (栃木県)

ポーラスターデザイン一級建築士事務所 様



長澤 徹 様  
ポーラスターデザイン一級建築士事務所

1973年 埼玉県春日部市出身  
1996年 東京都立大学建築学科卒業  
1996年 積水ハウス(株)宇都宮支店入社設計課配属  
1999年~2010年 社内コンペで最優秀賞7回、優秀賞4回、佳作1回、審査員特別賞1回、特別賞1回受賞  
2012年 ポーラスターデザイン一級建築士事務所設立  
~所名の由来~

「この住宅の中で好きなポイントは?という質問に一番を決めることが毎回できません。比較的まんべんなく力を注いで平滑につくることが得意としているので、多分こうなってしまうのでしょうか。故に私は住宅にタイトルをつけることが苦手です。もう十数年前になりますが、社内コンペに提出する作品のタイトルを苦肉の策ながら、ある時から引き渡し時の星座の星の名前から借りることにしました。望遠鏡を作っていた父の仕事に影響を受け、昔からわりと星は好きだったわけですが。そんなこんなで自分の事務所もなるべくブレないようにと願って星 (polarstar: 北極星) の名前を借りることにしました」

## 使用商品



センターサイディング  
ST型 センターストライプU  
ブラック  
1ST1G01L

## 審査員評

凛とした切妻の形式でしかも黒い外壁となると、重く硬い建物になりがちだ。しかしこの住宅は、そこに微細な操作Ⅱ線の要素を加えることで豊かな住宅環境を生み出している。切妻という形式を軽快に際立たせる金属サイディング特有の繊細な垂直線。素木を使った鼻隠しの斜めの線。そして足元のフェンスの水平線。線という繊細な表層が呼応して、この建物を軽やかに魅力的なものにしている。

## 受賞者インタビュー

### ヒアリングを重ねつつ、客観的な視点をもつ

ニチハ このたびはご応募くださり、ありがとうございます。グランプリ獲得、おめでとうございます。

長澤 ありがとうございます。

ニチハ では早速ですが、お施主様とはどのようなきっかけで出会われたのですか？

長澤 僕、大学卒業後ハウスメーカーに16年間勤めていたんですけども、独立したいというわけでもなく、次に何をするか全く決めずに辞めてしまったんです。辞めた後、いろんなところから「住宅の設計やってくれない?」というように声がかかって。それで人づてに栃木県の工務店さんから声がかかって、事務所を開設して細々と住宅の設計を始めました。最初は仕事が多かったので、その工務店さんの見学会に参加させてもらいながら、接客してプランをつくることを1~2年していたのですが、その時にお会いしたお客様がI様です。

ニチハ そうだったんですね。I様とは2014年ごろに出会われて、2016年9月に竣工されたと。

長澤 結局、出会ってから2年半以上かかりました。僕が元請けになり、土地や工務店探しを一緒に行いました。ニチハ I様は時間をかけて、土地も依頼先も熟慮されたんですね。プラン作成も難しかったのでは？

長澤 土地を買って、ここに建てるとなってからプランは作りました。隣もない状態で土地は購入したのですが、プランを迷っている間に隣は建ててしまつて。一帯が分譲地なんです。南東角地のI様の敷地は、この辺りでは一番最後に残った区画でした。なので、周りが全部建つてから窓の位置なども決められたので、比較的やりやすい形だったかもしれません。

客観的な  
目線で作られた  
「ふつうのいえ」。



撮影: 藤本一貴





野芝の種を庭にまき、今や木も下草も生え放題に。人工的ではない風情が自然あふれる環境に溶け込む。

撮影：藤本一貴



2階の子供室。左(北側)が吹き抜けになっている。

撮影：藤本一貴



キッチンごしに北側の窓が見える。

撮影：藤本一貴

**ニチハ** I様邸は1階にLDK+和室+水まわり、2階に子供室+寝室+クロゼットと、世間一般でも2階建ての住宅で最もポピュラーな要望の間取りですが、プランづくりはどのように進められていったのでしょうか。

**長澤** 僕、実はすごくヒアリングが多くて。通常のお客様でもトータルで30回、必ずプランを作るまでに3〜4回はヒアリングをします。I様は60回くらい打ち合わせをしました。難しいですが、できる限り要望を表面的に聞かないようにしています。会話をしながら、できる限り何を要望しているかを探るといいます。わりと物理的な要望ってポロツと出てくる。あれって結構、事前に箇条書きにされている方もいて、その中には大事だと思っていること、それほどでもないなと思っていることが混じっているわけです。中でも何を重視しているのか、それは会話をしている程度でも出てくるはずなので、その辺りを会話量で判断しているわけです。I様の要望では「南に吹き抜けがある」「広い」という辺りからスタートしました。目の前は田んぼや麦畑が広がっている環境で、道路を挟んで反対側には家が建たないと知り買った土地でしたので、広くて、吹き抜けがあつて、ロケーションを活かして建ててほしいという思いがありました。

**ニチハ** 最初から急勾配の大屋根と決めていた？

**長澤** 比較的今回は予算に制限があり、1階平面を広くしようとすると、どうしても坪単価を抑えられる形を目指さなければならぬ。1階の間取りをつくって、屋根をぐっと持ち上げると、こういう大屋根で比較的調整ができてしまうんです。御社には申し訳ないけれど、2階建てで一番外壁の少ないプランです。その方が全体の金額を抑えられるので、そこから考えてもいいのでは、と中身を組み立てていきました。

**ニチハ** なるほど。南側に吹き抜けはありますか、1階と2階のつながりに工夫をされていますね。

**長澤** 通常あの間取りでつくると、リビ



キッチンから南側の窓を見る。遮るものない景色だけのフレームになる。

撮影：藤本一貴

ング階段にしない限り、1階と2階が分断されてしまいます。リビングにある扉を開けて2階に上ると、床が落ちていて、1階とつながるようになっていて、一応北側が吹き抜けにもなっています。1階の声も聞こえます。I様のご要望の南リビングの吹き抜けをなくしたのも訳があつて。リビング南側の開口の高さを抑えたのは、電線や電柱が視界に入らないようにするためです。景色だけのフレームになるので、気持ちがいいんです。一方、2階からは空を切り取ったような景色を見ることができ。1階と2階で同じ方向を見ているけど、違う景色を楽しめる間取りになっていて、単純な形ですが、いろいろ考えています。

**ニチハ** 確かに！南側の窓からの眺めが素晴らしい！南北で視界の抜け方も異なっていますね。

**長澤** 敷地北側が遊歩道なんです。ここで小学生が遊んでいる環境なので、北に開いても影響ないです。風が抜けた方が気持ちいいので、南側の窓の反対側に同じ幅で開口を設けて風が通るようにしています。この窓は1m20cmと低く設置しました。椅子に座ったり、キッチンに立って水平を見ても、北側道路にいる人と目が合わない。それに、北側の家の人が南を向いて過ごしても、カーテンを閉じることなく過ご

てもらえるように、配慮しています。先ほど大屋根にする理由を金額面としましたが、住宅街の中に最後に入ってきたので、周囲の人に迷惑をかけるまい、なるべく後ろの家が陰にならないといふと、矩勾配で屋根をかけている部分もあります。

### 「ふつうの住宅」を生み出すために

**ニチハ** 外壁にセンターサイディングのセンターストライプUをご採用くださいました。お施主様が選ばれたのですか？

**長澤** I様は、本当は塗りたかったんです。ただ塗り壁は金額的に合わなくて。次にご希望だったのが、シンプルな金属サイディングでした。ニチハさんの外壁を選んだのは、地元栃木にセンターサイディングをつくっている鹿沼工場がありますよね。自分も栃木に14年以上住んでいましたし、地元でつくられている製品を選びたかったので、迷いはありませんでした。

**ニチハ** 外観に対するお施主様のご評価はいかがですか？

**長澤** 気に入ってもらっていると嬉しいです。僕は単純ですが、いいと思っています。お施主様は自分のこだわりや個性を形にしたくて、設計事務所へ依頼しに来るかもしれないですが、僕は

真逆で、個性が出ないものかと思っ

撮影：藤本一貴



を聞きすぎるのもどうかと思っ

**長澤** 「ふつうにふつうの住宅をつくれることを目指しています。これがなかなか難しく、思うようにいかないこと





撮影：藤本一貴

もありませんが、今日もふつうの質を少しだけ高めて、明日にはそれがふつうになるといいなあと、日々努力し仕事に取り組んでいます。」

これは、私の設計という仕事に対する取り組みでも大事な部分です。先ほどお話しした通り、自分は客観的に住宅をつくらうとしているのかもしれない。基本的には個人向けの住宅をつくっていますが、他人でも住めるような考えを持ち込んだり、毎回苦労しながら見えない北側の窓の配置まで整えようとするのは、北側の住人に対しての配慮なのですが、そうやって外観や外壁も他人の目線で選択したりしています。これらは全て、客観的に俯瞰した目線で物事を判断しようとしていることとあらわれのような気がします。

「ふつう」かどうかの判断も、主観で「私はふつうです」という人は本当にふつうかどうか怪しいもので、他人からの目で見ると「ふつう」かどうかが初めてわかるようなものかもしれません。だからこそ本当に難しいな。この「ふつう」に対して一歩でもにじり寄れるように、毎日、検証を重ねているところです。「私だけの」や「個人的な」といった言葉からは常に遠ざかってしまっていることばかりですが、控えめだけど品がいい、くらいの「ふつうの住宅」が生み出せるよう、常に努力をしています。

**長澤** 外壁が硬質感のある金属なので、鼻隠しまで強い素材を使ってしまおうと、ソリッドの塊というような強い印象を与えてしまうので、ここだけは木を使わせてもらったんです。雨樋もコストダウンのため設けていません。でもちゃんと軒下に砂利をうって、水はねの配慮はしています。雨樋のない鼻隠しが美しく見えていると思います。外壁をフラックにしたのも、緑がきれいに見えるからです。高原の避暑地とかで、セブンイレブンの看板が焦げ茶になっていたりしますよね。あれは自身の存在を消して周囲の緑を際立たせているんですね。

### 自分に合った楽しみ方から見つける家づくり

**ニチハ** ネットで設計事務所プランや見積りを依頼できるネットワークシステムも充実している今、特に若い世代の方々にとって、建築家の先生は身近な存在になってきていると思います。建築家の方と家づくりをするメリットについてどのようにお考えですか？

**長澤** メリットですか…。すぐサンプルも見せられないし、「この中から選んでください」ともないです。出会う半年以上経って間取りが決まってからしか見積りも出ないから時間はかかりますし、自分の建てたい家が建てられる？

**ニチハ** 難しいテーマだと思います。きっかけなり、影響を受けた建築などあったのでしょうか。

**長澤** 今の自分の設計の軸になっているのは他の建築家の方々ではなく、深澤直人さんと原研哉さんの考え方への興味の部分が大いように思います。この2人の巨匠を通して、「ふつう」ということを考え始めた部分は多々あると思います。

### 最後まで責任をもって、経年変化を楽しむ

**ニチハ** ハウスメーカーで設計されていた頃と独立された現在、変化はありますか？

**長澤** 16年間ハウスメーカーで住宅をやってきたので、まあまあ住宅のことを知っていると思って設計事務所を始めましたが、ホントに知らないことがよくわかって。プレハブ住宅は会社が準備している仕様の組み合わせがベースにありますが、いざ世間に放り出されたような感じで。ゼロからのスタートですが、会社にいる時よりできることが増えたので、ずいぶん面白いことにはなってきましたね。

**ニチハ** 自由度が広がるという感じ？

**長澤** 自由な分、責任を伴うといえますか。ハウスメーカーではメンテナンス

わけでもないですよ、僕の場合。言ったものと違うものが提案されるわけですから…。何がメリットでしょう？

**ニチハ** 自分の求めているものを自由に形にしてもらえる、ですとか、思ってもいなかった期待以上の提案に出会うことができる、といったことなどでしょうか。

**長澤** そんなにうまくいっているとも思えません。例えるなら、住宅メーカーや工務店に直接依頼をしたり、建築家や設計事務所の人に会いに行ったりという選択は、大きなコピーショップが気に入って毎回足を運ぶ人もいれば、小さな個人のカフェを見つけて楽しむ人もいるのと似ているかもしれません。どちらも経験した私の立場では、それぞれ良いところがあると思いますし、合う合わないも個人差があると思います。もし、小さな設計事務所を自分の近くに見つけたら、私も含め是非、応援してもらえると嬉しいですね。

**ニチハ** 両方の立場を経験していらっしゃるからこそ、お施主様が本当は何を望んでいらっしゃるのかを会話の中から汲み取るすべに長けていらっしゃるのかなと感じました。

**長澤** そうであつたらいいですね。メリットと言えるかどうかかわらないけれど、僕は楽しいので、一緒に楽しんでもらえたらと思います。

**ニチハ** I様も楽しんでいらつしゃいますか。

フリーを謳っていて、劣化の曲線をどれだけ緩やかにするかという点に重きを置いていたわけです。そこは半分疑問をもっていった部分でもあるのですが、今、個人でやっているのと、アフターケアの会社もないですし、つくって終わりじゃなくて、後々まで自分と工務店で責任をもつことができる。自分で最後までフォローできればいいので、外側に木を使うとか、劣化する素材も使える。その素材を使う上でデメリットの説明をきちんとして、不具合が出れば自分や工務店を呼んでもらえばいい。責任部分は増えたけれど、最後まで面倒を見ることができるようから、素材などの縛りもなくなつて、いろいろ自由にできるようになりましたね。

**ニチハ** I様邸の破風に天然の木を使用されているのも、そうした理由があるわけですね。



したか？

**長澤** 自分とは打ち合わせをしすぎて、どうでしょう(笑)。ですがI様は、この家に決めるためにいろんな人の家に入らせてもらっているからと、「長澤さんがうちを見せたい時は、家にいる限り開放します」と言ってくれて、いまだに見学コースに入れさせてもらっています。行くと「ここを直して」と指摘はされますが、これからも長いお付き合いになりますしね。そうしたことも含めて嫌でなければ、僕らみたいな設計事務所とやる家づくりは楽しいのではないかと思います。

**ニチハ** 本日は本当にありがとうございます。



「長澤様はハウスメーカーでの経験もあって、設計事務所の中では比較的抵抗なくサイディングをお使いいただいていますね。内壁と外壁をフラットな面で整えるなど、特殊な納まりにも挑戦していらっしゃる！今後もガッツリ営業させていただきます！(笑)聞き手(左)大宮営業所 花村。



撮影：藤本一貴



👑 プラチナ賞【非住宅部門】

ししだ眼科クリニック(兵庫県)

株式会社マツヤアートワークス一級建築士事務所 様



👑 プラチナ賞【住宅部門】

ホワイトベースハウス(千葉県)

アルキテク設計室 様



撮影:坂本政十郎

審査員評

クリニックと飲食店舗との複合施設である。白と黒の塊が相貫する彫刻的な形態であるが、肌理の細かいサイディング材によって親近感が得られている。キャンティレバーのピロティとエントランスの吹き抜けは、街並と親和するインターフェイス空間だ。

使用商品



モエンエクセラード16  
リーガストーン調  
ランダムGネロ  
EPB347F



モエンエクセラード16  
ヴェレウォール調V  
オーグMGビュアホワイト  
EFX2951□  
□:工場記号が入ります。

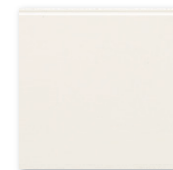
審査員評

切妻屋根かと思うとスリットで分断される。整合とか統合とかの建築概念から自由な、親しげな住宅である。ダイナミックなファサードのリブパネルの選択、中庭と内部を一体化するためのフラットパネルの選択など、マテリアル選択も自由奔放でたのしい。

使用商品



モエンエクセラード16  
リップ9 (パール)  
シルキーMG/パールII  
EPS238G



モエンエクセラード16  
フラットウォール  
プリミエMGホワイト  
EPS242□  
□:工場記号が入ります。



👑 ゴールド賞【非住宅部門】

菓匠梅月庭 清見台本店(千葉県)

アルファプランニング株式会社 様



👑 ゴールド賞【住宅部門】

A様賃貸共同住宅(埼玉県)

生和コーポレーション株式会社 様



審査員評

菓子の売り場、工房、喫茶の配置、そして日差しと千葉の風まで読み込む中庭の空間が素晴らしい。施主とは十数年のつきあい。熟練の設計である。黒い外壁(メモリアとミライア)の配分も中庭をさらに引き立て、季節感と老舗の表現に貢献している。

使用商品



使用商品



審査員評

Fu-geのリエゾンによる壁面のフラット感が、このアパートの存在感を決めている。木造建築には思えないマツシブでシャープなデザインである。ダークブラウンの外壁にくり抜かれたバルコニーは対比的な白。要素を絞った明快な表現が美しい。





入賞

ウチソトノウチ  
(千葉県)

株式会社sside 様

審査員評

変形敷地に3つの箱をランダムに組み上げ、箱間の余白(中庭)と箱のインテリアとの境目が無い、何とも不思議な空間を内部に抱え込む住宅である。その抽象性を担保するために外壁は閉じ、ピュアホワイトのフラットウォールが採用されている。

使用商品

- モエンエクセラード16  
フラットウォール/アグレアMGピュアホワイト  
EPS241 □ □:工場記号が入ります。



入賞

掘立柱の家  
(北海道)

米花建築製作所 様

審査員評

建て主は北海道開拓者の5代目。外壁の原始林のような丸太と葉のようなルーバーは風雪で次第に風化する。実質の建築をガードする役割がサイディングで、何とそのコントラストが意図されているという。北海道に根ざしたコンセプトな建築だ。

使用商品

- モエンエクセラード16  
フラットウォール/アグレアMGピュアホワイト  
EPS241 □ □:工場記号が入ります。

撮影:IKUYA SASAKI

入賞

HORI Dental Clinic  
(静岡県)

大和ハウス工業株式会社 静岡支店 様

審査員評

歯科クリニックの戸建て施設。シンプルで力強いファサードの外壁が白となると、シンプルな表面が望ましく、風光Type SPが採用されている。ウッドデッキの外部床と呼応する、軒天井の木目調がこのデザインの彫りを深くしている。

使用商品

- 風光HOOKOU Type SP/純白/TF101
- 軒天12 木目調/ティンバーページュ/YL141



入賞

life box+α  
(栃木県)

NASUホーム 様  
那須土木株式会社 様

審査員評

金属サイディングの特質が十二分に生かされた住宅で、長尺製品を縦に使い、シャープなボックス表現となっている。物置を付帯させつつボクシーにしたり、バルコニーを焦げ茶のサイディングにするなど、エレメント処理も相乗効果となっている。

使用商品

- モエンエクセラード16  
Fu-ge カルナウッド/ダークブラウンMG/EFF164Y
- センターサイディング  
ST型 センターストライプU/ブラック/1ST1G01L04







入賞

則武中モデルハウス  
(岐阜県)

株式会社フェスティナ・レンテ 様

審査員評

住宅のプライバシーを確保するための、クローズな外観の住宅である。閉じたファサードなのだが、NS型ネオスパンププレミアムシルバーとミラベルストーン調とをソリッドなオブジェのように配分している。二つの素材の対比が効果的だ。

使用商品

- モエンエクセラード18  
ミラベルストーン調/ミラベルMGダークE/EJF5723E
- モエンエクセラード16  
リーガストーン調V/ランダMG/パウダー EFX3453□ □:工場記号が入ります。
- センターサイディング  
NS型 ネオスパンププレミアム/ライトメタリックシルバー  
特注寸法品



入賞

MOVE若宮  
(愛知県)

株式会社マリモコンサルティング 様

審査員評

集合住宅にとって、バルコニーは住人のアクティビティの舞台のようなものだ。無味乾燥な箱形建築の活性化手段となり得る。この事例はそのひとつだ。二色のモベルウッドをさらに雁行させてまで、住まいの劇場化にチャレンジした。

使用商品

- モエンエクセラード16  
Fu-ge モベルウッド/  
モベルベージュE/EFF1222E  
モベルブラウンE/EFF1223E  
モベルダークグレーE/EFF1224E
- モエンエクセラード16  
Fu-ge ラトワール/ラトワールプラチナE/EFF0823E
- モエンエクセラード16  
Fu-ge セルクレール/エルフィンMGクリアホワイト  
EFF021□ □:工場記号が入ります。

撮影:小羽写真事務所

入賞

K様邸  
(京都府)

有限会社テクトスタジオ 様

審査員評

まるで何十年も前から在ったかのような、濃厚な「気配」の住宅だ。京都の町屋のコンテクトを見事に引き寄せる。くしびき柄や木目柄のサイディングを用いることで法規をクリアし、京都に入り込んでいる。庇の処理などディテールも秀逸だ。

使用商品

- モエンエクセラード16  
コートリーウッド/トランクMGウォルナット/EPS494F
- モエンエクセラード16  
しぶきV/プラムMGブラウンII/EF5359□ □:工場記号が入ります。



入賞

ラストノートの家  
(愛知県)

アーレックス株式会社 様

審査員評

20世紀モダニズムに特有の白い建築は、平滑で目地の無いフラットさが条件といてもいい。この住宅のように「美術館のような」を目指したデザインでは、その条件は必須、木造でその条件を満たす工法としてモエン大壁工法が必然的に使われている。

使用商品

- モエンエクセラード16  
リーガストーン調/ランダMGネロ/EPB347F
- モエン大壁工法  
小粒ロックS仕上げ







### 👑 Fu-ge賞

M様邸  
(和歌山県)

株式会社マルコーホーム 様

#### 審査員評

窓が少ない住宅は施主の要望であった。その要望の精度をデザイン的に上げるため、目地シールの無い均質な表面が可能なFu-geが使われている。しかしそれを超えてこの住宅が魅力的なのは、二つの勾配屋根の唐突といってもいいドッキングだ。

#### 使用商品

- モエンエクセラード16  
Fu-ge カルナウッド/カーボンブラックMG/EFF165Y



### 👑 入賞

光陰の窓(Court House M)  
(大阪府)

Y's design 沖 裕輔 様

#### 審査員評

何よりもプランが素晴らしい。メゾネットでプライベートコート付き賃貸集合住宅を直線的に配置し、小さな街の界限を出現させているのだ。潔く白一色でも飽きない空間である。リキッドシェイプのランダムな横ストライプが場を得ている感じだ。

#### 使用商品

- モエンサイディングS18  
リキッドシェイプ  
シャドウMGホワイト  
SPA121P

### 👑 Fu-ge賞

Y様邸  
(兵庫県)

株式会社リブライフ RIPARO 様

#### 審査員評

木造とは思えないマッシュアップでシャープな住宅だ。開口方向を限定し道路側には窓が無い。単純明快なプランである。その分窓の無い大壁には「一枚の壁」であることが要求され、目地シール無しのFu-geが3種類採用されている。

#### 使用商品

- モエンエクセラード16  
Fu-ge モベルウッド/モベルダークグレー-E  
EFF1224E
- モエンエクセラード16  
Fu-ge エコルセ  
リベルMGクリアホワイト/EFF151□ □:工場記号が入ります。  
バグーMGグレー/EFF154□ □:工場記号が入ります。



### 👑 リフォーム賞

佐々木医院及び住宅  
内外部改修工事 (広島県)

株式会社 KI works 様

#### 審査員評

築80年の木造モルタルの診療所！困難を乗り越えてのリフォームである。元々の建物がパランスのとれたキュービックなもので、従ってFu-geによるサイディング仕上げは理にかなったものだが、モルタル下地の調整など努力の結晶である。

#### 使用商品

- モエンエクセラード16  
Fu-ge セルクレール/エルフィンMGホワイト  
EFF022□ □:工場記号が入ります。



before





CO<sub>2</sub>固定量証明書の贈呈式。左：宮崎県小林市肥後正弘市長。右：ニチハ(株)取締役上席執行役員調査部長 吉田康則。



KITTO小林的南外観。



釘を一本も使用せず船底を表現した天井が美しい、新庁舎2階の議場。



小林市新庁舎外観。

「KITTO小林」では県産材のスギヒノキを多用しており、公共建築物では、県内初の木造耐火構造物件でもあります。本物件で使用された国産木材チップを使用したオフセットサイディング COOL・Fu-geのCO<sub>2</sub>固定量は、「4.834kg-CO<sub>2</sub>」。30年生ヒノキ約36本分に相当します。

本年度より新設された、初の公共建築物賞は「小林市地域・観光交流センター」愛称：KITTO(きと)小林が受賞いたしました。外壁にオフセットサイディングをご採用いただき、この度、肥後正弘市長に「CO<sub>2</sub>固定量証明書」の贈呈を行いました。

宮崎県小林市は北に九州山地、南に霧島錦江湾国立公園の霧島連山を望む盆地に位置し、豊かな自然に恵まれ、霧島の湧水や日本一の「宮崎牛」の産地として広く知られています。「KITTO小林」は、交通アクセス機能や防災機能を高め、市民や観光客が集い、市の魅力を市内外にPRする情報発信の拠点として計画整備されました。小林市では積極的に木材利用を推進しており、平成24年8月には「公共建築物等木材利用促進法」に基づき、「小林市木材利用促進基本方針」を策定。公共物件の木造化・木質化や、市産材を使用した家づくりサポート事業など、独自の補助制度も実施しています。持続可能な森づくりへ向け、市有林でSGEC森林認証を取得するなど、市を挙げて地域材の需要拡大にも取り組んでいます。



- 使用商品
- COOL メモリア/ダークブラウン/EFM317F
  - モエンエクセラード16  
Fu-ge ルボン/レセビMGホワイト/EFF101□  
□:工場記号が入ります。
  - モエンエクセラード16  
Fu-ge カルナウッド/ホワイトアッシュMG/EFF161Y
  - モエンエクセラード16  
Fu-ge カルナウッド/ダークブラウンMG/EFF164Y
  - モエンエクセラード16  
Fu-ge スライウッドII/グレンMGメイプルII/EFF046F
  - モエンエクセラード16  
Fu-ge スライウッドII/グレンMGチャコールII/EFF0410F

のメモリアが使用されている。

**公共建築賞**

小林市地域・観光交流センター (KITTO小林) (宮崎県)

切畑建築設計室 様

審査員評



- グランプリ**
- 【住宅部門】
- I様邸(栃木県) ポーラスターデザイン一級建築士事務所 様
- 【非住宅部門】
- 埼玉トヨタ自動車株式会社 レクサスCPO浦和美園(埼玉県) 有限会社デザイン・ワークス 様
- プラチナ賞**
- 【住宅部門】
- ホワイトベースハウス(千葉県) アルキテク設計室 様
- 【非住宅部門】
- しした眼科クリニック(兵庫県) 株式会社マツヤアートワークス一級建築士事務所 様
- ゴールド賞**
- 【住宅部門】
- A様賃貸共同住宅(埼玉県) 生和コーポレーション株式会社 様
- 【非住宅部門】
- 葉匠梅月庭 清見台本店(千葉県) アルファプランニング株式会社 様

- 入賞**
- 掘立柱の家(北海道) 米花建築製作所 様
  - life box+a(栃木県) NASUホーム 様 那須土木株式会社 様
  - ウチソトノウチ(千葉県) 株式会社sside 様
  - HORI Dental Clinic(静岡県) 大和ハウス工業株式会社 静岡支店 様
  - MOVE若宮(愛知県) 株式会社マリモコンサルティング 様
  - ラストノートの家(愛知県) アーレックス株式会社 様
  - 則武中モデルハウス(岐阜県) 株式会社フェスティナ・レンテ 様
  - K様邸(京都府) 有限会社テクトスタジオ 様
  - 光陰の窓(Court House M)(大阪府) Y's design 沖 裕輔 様

- リフォーム賞**
- 佐々木医院及び住宅内外部改修工事(広島県) 株式会社 KI works 様
- Fu-ge賞**
- M様邸(和歌山県) 株式会社マルコーホーム 様
  - Y様邸(兵庫県) 株式会社リブライフ RIPARO 様
- 公共建築賞**
- 小林市地域・観光交流センター(KITTO小林)(宮崎県) 切畑建築設計室 様

- ニチハ賞**
- 北上ハウジングプラザアエルA棟(岩手県) 株式会社リベスト 様
  - K様邸(岩手県) Be・house architect studio yoshie.k 様
  - トヨタウッドユーホーム 企業内託児所 りすの森保育園(栃木県) トヨタウッドユーホーム株式会社 様
  - デイケアハウス みんなのまち(埼玉県) 株式会社大谷組 様
  - 認定こども園泉の森(埼玉県) 株式会社IFA計画 様
  - T様邸(埼玉県) 近藤建設株式会社 様
  - イーヴス東川口(埼玉県) ポラスタウン開発株式会社 様

- K様邸(千葉県) 株式会社三栄建築設計 様
- グランフォレスト学芸大学(東京都) 住友林業株式会社 様
- T様邸(東京都) 株式会社中央住宅 様
- Y様邸(東京都) スターツホーム株式会社 様
- K様邸(静岡県) 第一建設株式会社 様
- H様邸(愛知県) イワクラゴールデンホーム株式会社 様
- K様邸(愛知県) 加門建築設計室 様
- 地域密着型特別養護老人ホーム たんぼ鶴の里(愛知県) 株式会社ユーエス計画研究所 様

- モデルハウス(富山県) 共和土木株式会社 様
- T様邸(岐阜県) 株式会社中垣工務店 様
- 第5弾モデルハウス(滋賀県) ライアート株式会社 様
- 和歌山市河西ほほえみセンター(和歌山県) 環境建築計画 様
- アセンブル上野西(大阪府) 株式会社ケーティア建設工業 様
- ES事務所付住宅(兵庫県) 株式会社東影建築設計事務所 様
- O様邸(兵庫県) 株式会社ゼロ・コーポレーション 様
- ストックビレッジ東二見駅北モデルハウス(兵庫県) 昭和住宅株式会社 様
- 八天堂ヴィレッジ カフェリエ(広島県) 株式会社電通ライブ 様

- I様邸(広島県) 創建ホーム株式会社 様
- 大山の森 千年樹(鳥取県) 株式会社コニシ 様
- 株式会社ヤマトホーム社屋(愛媛県) 株式会社ヤマトホーム 様
- T様邸(山口県) 株式会社田中組 様
- 中九州クボタ庄内営業所(大分県) IGA建築計画 様
- Y様邸(熊本県) 株式会社アーデルハウス 様
- K様邸(熊本県) 濱田建築 様
- A様邸(熊本県) 株式会社アーデルハウス 様





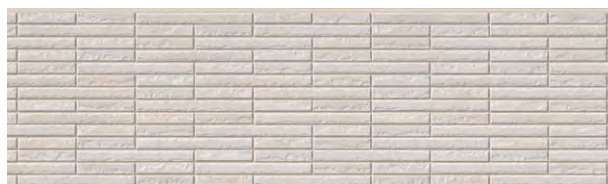
### ミルシュタイン

サイズ: 16×455×1,820mm  
4,400円/枚(税抜)  
5,313円/㎡(税抜)

規則正しく整然と積み上げられた石積み  
ボーダー柄。荒削りしたフラット面の多色感  
と、表面を少し削った、はつり仕上げをイ  
メージしたピースをランダムに配したことで、  
色調・立体感に変化を与えます。



ミルトMGベージュ イメージ



EFF271P ミルトMGホワイト



EFF272P ミルトMGベージュ



EFF273P ミルトMGブラウン



EFF274P ミルトMGブラック

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認願います。



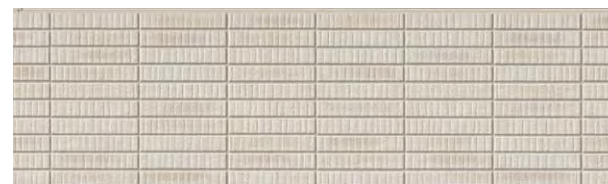
### シャント

サイズ: 16×455×1,820mm  
4,400円/枚(税抜)  
5,313円/㎡(税抜)

ハンドメイドタイルをイメージした焼き物の自  
然な色むらを再現。四方合いじゃくりの特  
徴を活かした目地割の採用により、すっきり  
と軽快な仕上がりとなります。



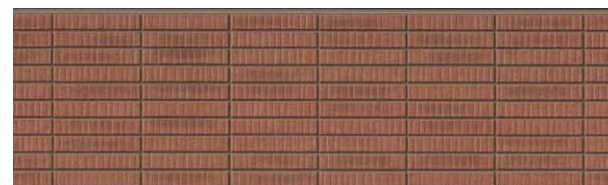
リッヒMGブラウン イメージ



EFF261P リッヒMGホワイト



EFF262P リッヒMGイエロー



EFF263P リッヒMGオレンジ



EFF264P リッヒMGブラウン

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認願います。



# TOPICS and MORE

## ZEH支援制度に大きな動き ZEH支援は2019年度まで、 さらに優れたZEHの支援もスタート

ハウジングトリビューン 平澤和弘

2018年度、ZEHをめぐる支援制度が大きく変わりそうだ。2017年度のZEHの支援制度としては、国土交通省の「地域型住宅グリーン化事業」と、経済産業省の「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業」が行われてきた。「地域型住宅グリーン化事業」の「高度省エネ型」ではゼロエネルギー住宅とする掛かり増し費用相当額を対象に上限165万円を補助、「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業」は、ZEHの新築、ZEH建売住宅の購入、ZEHへの改修に対して戸当たり75万円が補助されてきた。各省庁の2018年度の概算要求では、この国土交通省・経済産業省に環境省も加えた3省がZEHを推進していく。

### ZEH支援事業は戸当たり70万円 新たに集合・賃貸も対象に

2018年度の施策を見ると、「地域型住宅グリーン化事業」は引き続き実施され、中小木造住宅事業者のZEHに対する取り組みを

支援していく。「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業」は、経済産業省から環境省へと引き継がれ、新たに「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)化等による住宅における低炭素化促進事業」として行われることになる。同事業は、これまでの支援事業と大きくは変わらず、登録を受けたZEHビルダーが設計・建築したZEHに対して補助が行われる。ただし、いくつか変更点があるので注意が必要だ。

まず、補助金額は戸当たり70万円と、2018年度から5万円減額する予定だ。また、一定の条件を満たすものについては追加補助が行われる。具体的には、戸建住宅でCLT(クロスラミネーティッドティンバー)やCNF(セルロースナノファイバー)といった省エネ化に効果のある素材・建材を導入する場合、また、先進的な再生エネルギー熱利用技術(太陽光・太陽熱を利用したハイブリッド設備や地熱発電設備などを想定)を導入する場合に、戸当たり90万円の追

加を行う。さらに蓄電池を導入する場合もkWh当たり3万円を追加補助する予定だ。これまで戸建住宅のみであったものを、新たに低層の集合住宅、低層の賃貸住宅の新築・改修も対象に加える。補助金額は戸建住宅と同等の70万円を予定している。ただし、現状、集合・賃貸住宅はZEHの要件が整備されていないことから、戸建住宅の要件をもとに制度開始までに整備する予定だ。

### 経産省はさらに優れたZEHを支援 太陽光発電の効率的な運用を促す

一方、経済産業省は、現行のZEHよりも優れた性能を持つZEHなどの普及を支援する。具体的に

は、省エネ性能をより深掘りするとともに、太陽光発電の効率的な運用などによる電力の自家消費率を高める取り組みを支援する。太陽光発電の初期コストを抑えるためにも省エネ性能をさらに高め、少ない発電量でもネット・ゼロ・エネルギーを達成できるZEHや、断熱性能を強化するなど太陽光発電の効率的な運用を図るZEHに補助を行う。

補助金額は現状では未定。対象はZEHビルダー登録を受けた事業者が設計・建築したものとなっている。つまり、2018年度は、環境省と経済産業省の2つの支援策のどちらかを選ぶことができるようになる。省エネ基準への適合義務化を控え、住宅の省エネレベルは上がりつつある。ZEHは差別化を図る上でワンランク上の住まいの提案であり、その取り組みが積極化しつつある。ただ、その分のコストアップは避けられないことから、こうした支援策を上手く使っていくことが重要なポイントとなろう。

### ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)化等による住宅における低炭素化促進事業の概要

対象	戸建住宅 集合住宅 賃貸住宅	
要件	ZEHビルダー登録を受けた事業者が設計・建築	
補助金額	戸当たり70万円	
追加補助	戸当たり90万円 kWh当たり3万円	省エネに効果がある素材・建材、先進的な再生エネルギー熱利用技術の導入 蓄電池



## プラトストーン

サイズ: 16×455×1,820mm  
4,400円/枚(税抜)  
5,313円/㎡(税抜)

天然の砂岩、御影石のテクスチャーを生かしたシンプルな石積み柄。ボーダーをイメージした割り付けで、アクセント柄として様々な住宅スタイルに対応します。



プラトMGグレー イメージ



EFF211Y プラトMGホワイト



EFF212Y プラトMGベージュ



EFF213Y プラトMGグレー



EFF214Y プラトMGブラウン

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認願います。



# ついに登場!

ニチハ

# 30年

窯業系サイディング

## 業界 最高峰

※2017年11月時点

## 塗膜変褪色保証

アサヒ

をさらに進化させた超高耐候塗料を開発!

2018年2月 第一弾

# Debut!

モエンエクセラードの人気柄を中心に展開



### ニチハ株式会社

名古屋市中区錦二丁目18番19号

三井住友銀行名古屋ビル

TEL (052) 220-5111

編集/ナビュー編集室

ホームページアドレス

<https://www.nichiha.co.jp/>

### 編集後記

グランプリ2作品の取材を終え、思いを巡らせたのは「住宅や建物は誰のためのもの?」という視点。もちろんお施主様、依頼主であるオーナー様のためのものに違いはなく、依頼者の要望を叶えるために何度も打ち合わせを重ね、幾度も変更するわけですが、様々な視点からその建築を見つめていることが伺えました。住宅部門グランプリを受賞された長澤様は、20年、30年後に住まう人(同じ住人でもその変化)を想像したり、北側の住人からの視線で外観や外壁を選択したりと、客観的な視線をもつことを重視され、一方、非住宅部門グランプリを受賞された伊藤様は、ブランドイメージに寄り添いながら新たな展開への「架け橋」となる表現に取り組み、さらに、そこに流れる時間や、将来受け継がれる人々の思いや営みを見つめていらっしゃいました。揺るぎない設計信条を通して生み出されたものだからこそ、建築をとりまくあらゆる人々にとって心地よく、喜ばしく受け入れられるのだらうと思いました。皆様は何を感じましたか?アンケートをお待ちしています。(T)